



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社フコク 上場取引所 東
 コード番号 5185 URL <http://www.fukoku-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 木村 尚 (TEL) 048-615-1700
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	56,102	7.7	2,234	7.5	2,392	11.2	△355	—
29年3月期第3四半期	52,075	△4.8	2,079	△27.9	2,152	△30.3	1,472	△31.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 139百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △1,503百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△21.46	—
29年3月期第3四半期	88.25	88.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	69,144	35,402	47.9
29年3月期	65,153	35,712	51.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 33,089百万円 29年3月期 33,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	4.7	2,600	△16.1	2,900	△13.8	100	△95.3	6.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	17,609,130株	29年3月期	17,609,130株
30年3月期3Q	1,046,078株	29年3月期	1,046,028株
30年3月期3Q	16,563,086株	29年3月期3Q	16,687,860株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるグローバルの経済情勢を見ますと、米国トランプ政権の政策運営に対する不透明感、北朝鮮情勢の緊迫化や各地におけるテロへの不安感などが影を落としているものの、総じて改善傾向あるいは堅調な様相を呈しました。我が国におきましても、企業業績の好調、雇用情勢の安定、株価の上昇などを背景に景況感は緩やかな回復傾向を示しております。

当社グループの主要顧客先である自動車産業におきましては、各エリアの販売動向に浮き沈みが見られる中、グローバル全体では引き続き生産を伸張させました。同時に、欧州及び中国においてEV化促進につながる政策が打ち出されるなど、自動車の技術革新と市場変化の趨勢にも注目が集まりました。

このような状況下、当社グループの受注状況も底堅く推移し、連結売上高は前年同期比7.7%増の561億2百万円となりました。損益面では、営業利益が前年同期比7.5%増の22億34百万円、経常利益が同11.2%増の23億92百万円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純損益については当社子会社製ホースの不具合に関するリコール関連損失を計上したことにより、3億55百万円の損失（前年同期は14億72百万円の利益）となりました。

なお、当社の連結子会社である株式会社東京ゴム製作所は、主要得意先であるいすゞ自動車株式会社が、同社製品に使用されている自動変速機用オイルホースの不具合に関するリコールの届出を平成29年11月30日に行ったことを受け、サプライヤーとしての対応が必要となっております。現時点で入手可能な情報に基づき、当該リコール関連費用を合理的に見積もった結果、製品保証引当金繰入額として17億61百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ39億91百万円増加し、691億44百万円となりました。

流動資産は前期末に比べ23億35百万円増加し、375億50百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等によるものです。

固定資産は前期末に比べ16億56百万円増加し、315億94百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加等によるものです。

負債は前期末に比べ43億1百万円増加し、337億42百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、製品保証引当金の増加等によるものです。

純資産は前期末に比べ3億10百万円減少し、354億2百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少及び為替換算調整勘定の増加等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ3.5ポイント減少し47.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年12月26日発表の「特別損失の計上ならびに連結業績予想の修正および債務保証に関するお知らせ」の数字を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,496	9,624
受取手形及び売掛金	18,960	19,757
商品及び製品	3,226	3,392
仕掛品	1,011	1,075
原材料及び貯蔵品	2,053	2,157
その他	1,477	1,552
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	35,215	37,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,455	8,675
機械装置及び運搬具(純額)	10,099	11,438
土地	6,173	6,217
その他(純額)	2,903	2,944
有形固定資産合計	27,632	29,275
無形固定資産		
その他	856	768
無形固定資産合計	856	768
投資その他の資産		
投資有価証券	794	883
その他	655	666
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,449	1,549
固定資産合計	29,938	31,594
資産合計	65,153	69,144

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,058	11,777
短期借入金	7,551	7,795
未払法人税等	626	294
賞与引当金	654	436
製品保証引当金	—	1,758
その他	4,302	5,106
流動負債合計	23,193	27,169
固定負債		
長期借入金	2,722	2,942
退職給付に係る負債	1,863	1,883
役員退職慰労引当金	790	764
その他	871	983
固定負債合計	6,247	6,573
負債合計	29,440	33,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395	1,395
資本剰余金	1,576	1,576
利益剰余金	30,845	30,158
自己株式	△951	△951
株主資本合計	32,866	32,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	194
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	467	716
その他の包括利益累計額合計	619	909
非支配株主持分	2,226	2,313
純資産合計	35,712	35,402
負債純資産合計	65,153	69,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	52,075	56,102
売上原価	42,939	46,591
売上総利益	9,136	9,510
販売費及び一般管理費	7,056	7,275
営業利益	2,079	2,234
営業外収益		
受取利息	22	32
受取配当金	12	14
持分法による投資利益	35	37
その他	228	227
営業外収益合計	299	311
営業外費用		
支払利息	89	82
為替差損	87	30
その他	49	40
営業外費用合計	226	153
経常利益	2,152	2,392
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
製品保証引当金繰入額	—	1,761
特別損失合計	2	1,761
税金等調整前四半期純利益	2,149	631
法人税、住民税及び事業税	561	612
法人税等調整額	△59	210
法人税等合計	501	823
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,647	△192
非支配株主に帰属する四半期純利益	175	163
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,472	△355

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,647	△192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	40
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△3,123	285
持分法適用会社に対する持分相当額	△58	4
その他の包括利益合計	△3,151	332
四半期包括利益	△1,503	139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,393	△65
非支配株主に係る四半期包括利益	△109	205

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。